

平成30年度 第5回かほく市行政改革推進委員会 会議録

日 時	平成31年1月16日（水） 13時30分～14時55分
場 所	かほく市役所庁舎 302会議室
出席委員	今村委員、坂野委員、油野委員、渡邊委員、森委員、中嶋委員、森下委員、細井委員、架谷委員
事務局	総務課【丸井課長、清水課長補佐、荒井総務係長、山本主事】
議 題 等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長あいさつ 2. 第4次行政改革大綱の策定について 3. 第4次行政改革実施計画（推進項目）について 4. 今後のスケジュールについて 5. その他
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次かほく市行政改革大綱策定の方向性について ・行政改革推進委員会 今後のスケジュール ・第4次かほく市行政改革実施計画書（案）

○第4次行政改革大綱の策定について

- ・事務局より、会議資料「第4次かほく市行政改革大綱策定の方向性について」に沿って、新たな行政改革についての概要を説明。
- ・事務局より、「行政改革推進委員会 今後のスケジュール」に沿って今後のスケジュールについて説明。

<主な質疑・意見等>

（委員）

最近、障害者雇用の水増し問題など、法令順守いわゆるコンプライアンスについて話題となった。今回策定する行政改革大綱などにもコンプライアンスについての文言を加えていただきたい。

（事務局）

大綱の文言に加えることとしたい。

○第4次行政改革実施計画（推進項目）について

実施計画の説明については、項目数が多くあることから、今回と次回の会議の2回にわたり説明を行うこととした。

<主な質疑・意見等>

(委員)

「定住促進の推進」について、継続して行っていくとのことであると思うが、第3次行革の結果を踏まえて行っていくのか？

(事務局)

ご質問のとおり、定住促進にはこれまでの結果等も踏まえて、今後も取り組んでいく。第4次行政改革としては「住みよさの発信」という切り口で、今後様々な場面や新たな手法でのPRというものに取り組んでいくことを項目とした。

(委員)

「一体的な子育て支援の充実」についてであるが、市内こども園の待機児童の状況は？また、保育士の人材が不足しているということを目にしている。これについてはサービスの充実は結構であるが、サービス過剰となっている面はないか。そのことが職員の負担になっているのではないかと個人的には感じている。

(事務局)

市内には、公設公営の8つのこども園と民間のこども園、また家庭的保育事業など様々な受入れパターンがあるが、市全体として捉えた場合、待機児童はゼロとなっている。なお、希望するこども園への入園が困難な場合、市内の他のこども園にて受け入れを行うということはある。

保育士の人材確保については、正規職員を補完するための嘱託職員の採用や、講習を受けた保育ママの活用などで対応しているが、なかなか確保が困難な状況である。今後行革においても様々なアイデアを検討するとともに、意見も頂戴しながら進めてまいりたい。

(委員)

「パブリックコメント制度の推進」について、寄せられた意見等をホームページで公開するというのはとても良いことだと思う。そのうえで、寄せられた意見を分析・集計し、広報等へ掲載することなども検討してはどうか？

(事務局)

検討させていただき、実施内容に含める方向で調整する。次回会議には反映した実施計画書を提示したい。

(委員)

「公用車における民間活用」について、職員自ら運転したり、管理を行っているようだが、現状まったく委託は行われていないのか？また車両の管理については職員が責任を負うと聞いたことがある。

以前たまたま乗り合わせていた公用車のマイクロバスが高速道路上でパンクしたことがあった。結果大事には至らなかったが、財政面を重視するあまり、安全管理をないがしろにすることがないようにすべき。もちろん専門業者に車両管理を委託するとしても費用

面の検証を行う必要はあるが、安全を優先すべきであると思う。

(事務局)

公用車に関して委託が行われているかという点については、バスなどの運転業務の一部をシルバー人材センターへ委託していることなどがある。

安全管理という点については、公用車には様々なものがあるが、場合によっては車両を所有する課に配属された専門知識のない職員が日頃の車両点検を行わなくてはならないということもでてくる。そういった意味では今回行政改革において車両そのものを市が直接所有しているという形態についても、将来的なリース化や、その中に運行管理やルートの検討も含めた包括的な委託などを検討していければと考えている。そのことで職員が本来の業務に専念できる環境づくりにも繋がる。

今回の計画の中で民間委託できるものについては実施していくが、目標としている2022年度までの実施が困難なものについては検討を継続する。その際にはスケジュールの見直しということも含めて提案していきたい。

(委員)

「防災体制の強化」について、実施スケジュールには「防災講座の開催」とあるが、中身が大事であり、啓蒙ではなく、具体的な避難経路などについて行う必要があると思う。

各地区別の避難計画など、より具体的な検討を行っていくべきでは。

(事務局)

具体的な避難方法やルールなどの検討という部分は、現在担当課において進めているところであり、引き続き担当課が取り組んでいくこととなる。

行政改革としては、それらの見直し等について広く周知を行っていくことを実施内容としているものであるため、「防災講座」という大きなくくりで表現させていただいており、内容についても防災訓練の場での講習や、出前講座等による各地区での講座などを想定している。

(委員)

講座の内容について、具体的にテーマをもって行うようお願いしたい。

(委員)

昨年防災訓練に参加したが、反省点が多くあった。

また、昨年の台風において、古宮町では集会所を自主避難所として開設したが、市から避難は拠点避難所である学校に行っていほしいとの案内があり、混乱したということがあった。

訓練は必要だが訓練を行って終わりというのではなく、反省点を改善していくことが重要である。

(委員)

これらの反省点を踏まえ、市としてどのような対応を考えているか？

(事務局)

前回の台風では、避難所運営等において様々な反省点が出てきた。今後も災害が発生するごとに新たな検討課題が生じ、その都度改善を積み重ねていくこととなると思う。そのような修正点や変更点なども併せて周知を行っていくというところに重きを置いて、防災講座の内容の充実を図っていくこととしたい。

(委員)

この防災対策の強化という項目はこの委員会での要望からのものであり、重点項目でもあると思う。今回の内容は担当課にもお伝え願いたい。

(事務局)

担当課へ申し伝える。

(委員)

「機能的な組織の構築」について、窓口ワンストップは他自治体において導入されていると聞いている。例えば死亡届などの手続きを一か所で行うなどがあるが、それを行うということか？

(事務局)

他自治体の取り組みをそのまま行うというわけではなく、かほく市としてできる取り組みを、先進事例などを参考にしながら検討し、導入することを考えている。

自治体の規模によって受付件数や庁舎の形態も異なり、かほく市にとってよりよい方策を検討していきたい。

現在市では高松と七塚にサービスセンターがあるが、そのサービスセンターもワンストップの1つの形態であると考えている。

(委員)

「専門的業務研修の実施」について、毎年3名研修に派遣するとのことであるが、具体的にどのような研修になるのか？また、このことが市民サービス向上にどう繋がるのか？

(事務局)

これらの研修については、市にある様々な業務について、受講者が受講科目を選択し、集中的にその業務における専門的な知識を学ぶものとなっている。例えば税に特化したもの、福祉に特化したものなどがあるが、さらにその中から科目選択し受講する。

受講者はその専門知識を持ち帰り、市の業務に活かしていくことで高度化するニーズに伝えていくこととなる。

また、これらの研修に参加することで、同一事務を行っている他自治体の担当者とのネットワークが生まれ、類似案件への解決策などのアドバイスや、情報を知る機会も得ることもできるものと考えている。

(委員)

先ほど保育士の人材不足の話が出たが、実際かほく市もそうであり、他自治体でも慢性的に不足している状況である。今後計画的に人材確保に向けて取り組んでいく必要がある

と思う。

このような取り組みは民間の施設とも協力して知恵を出し合いながら行っていけば良いと思う。

(事務局)

大変貴重なご意見を頂いた。参考とさせていただきます進めてまいりたい。

(委員)

「防災体制の強化」について、拠点避難所が市内の学校となっているとのことであるが、場所によって災害の種類や避難の方法は異なるはずであり、拠点別の、より具体的なマニュアルがあってもよいのではないかと思う。またそれらをホームページなどで公開することなども考えられるのではないか。

(事務局)

現在拠点避難施設となっている学校は改築などの大規模な変更だけでなく、教室のレイアウトや用途変更なども行われることがよくあることから、その都度マニュアルの見直しを行い、その変更点をこまめに周知することとしていきたい。

ご提案頂いた拠点別のマニュアル作成やホームページへの掲載については今後検討していきたい。

○その他

- 今後のスケジュールについて【事務局説明】

次回会議は2月20日（水）とし、案内を改めて送付させていただく。

内容としては、今回に引き続き実施計画の説明を予定しているほか、可能であれば第4次行政改革大綱案についてもお示しできればと考えている。

(委員)

会議録について、作成しているのであれば提供頂きたい。

(事務局)

次回会議の開催案内に同封し、送付させていただく。

- その他全般についての質疑等がないか確認。

⇒質疑なし 14:55会議終了。